

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	建設部	
	08075-1	市単道路整備事業			室名	道路整備室	
	施策体系	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造			財務科目	一般会計
		基本施策	09:道路網の整備			款項	土木費
		施策の方向	02:道路ネットワークの見直し			科目	道路橋梁費
	戦略プロジェクト				目	道路新設改良費	

②目的・概要	対象	市民				
	目的	本市のコミュニティ道路については、狭隘な道路が多く残っている状況である。災害に強い住環境の整備を行う上でもコミュニティ道路は、重要な役割を果たすものであることから、特に幹線との接続道路や防災上及び交通安全上の整備が必要とされる道路を中心として市道の改良を図るものである。				
	概要	和賀白川線歩道整備 幅員W=1.5m 延長L=40m 本町15号線視距改良整備 幅員 W=5.5m 延長L=40m 能褒野東線狭隘道路整備 幅員W=4.0m 延長L=31m 古裏停車場線狭隘道路整備 幅員W=2.75m(片車線) 延長L=12m JR下庄駅自転車置場整備 駐輪台数 135台				

③指標	①	名称	工事实績路線数	計画値		27年度	28年度	
		補足	用地買収が完了し道路工事を実施している路線数	実績値		4		
				単位		路線		
		②	名称		計画値			
			補足		実績値			
		③		名称		計画値		
	補足			実績値				
		④	名称		計画値			
	補足			実績値				
					単位			

④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
					工事实績路線 ○路線 和賀白川線歩道整備(事業完了) 本町15号線視距改良整備(事業完了) 能褒野東線狭隘道路整備(事業継続) 古裏停車場線狭隘道路整備(事業完了) JR下庄駅自転車置場整備(事業完了)				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,365	
		国庫支出金					一般職員人件費 ②	1,365	平均給与額×③
		県支出金					所要人員 ③	0.18	
		地方債					臨時職員人件費 ④		
		その他					受益者負担額 ⑤		
		一般財源		33,000	32,248		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額							
		総人件費			①		1,365		
		総コスト			⑥		33,613		

⑤事業の評価	【事業の成果】		総合判定
	4路線において事業を完了できたことで、防災性の向上を図る事ができた。 また、視距改良・歩道整備を行った事で、安全性の向上も図れた。		B まずまず進んだ
	【反省点・課題】		
	財政難のおり、継続事業で行う事が増えている。 また、自治会要望で進めた事業においても、個々の合意形成に時間を要している。		
	【改善の方向性】		
	生活道路整備指針や狭あい道路後退用地整備事業と連携を図り、効率的に整備を進める。 また、用地測量・買収を行った翌年に工事を実施するといった整備手法で整備を行っていく。		
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳